

The NICT JLE Corpus, エラータグ付与ガイドライン ver. 1.1

はじめに	4
エラータグ付与時の注意点	4
エラータグの構成	4
連鎖的に付与されるタグ	4
その他注意事項	5
エラータグの種類	6
1. 名詞に関する誤り [n]	9
1.1 活用に関する誤り [inf]	9
1.1-a 複数形への活用誤り	9
1.1-b 所有格形の誤り	9
1.2 名詞の単複に関する誤り [num]	9
1.3 名詞の格に関する誤り [cs]	10
1.4 可算/不可算名詞の使い分けの誤り [cnt]	10
1.5 補部の誤り [cmp]	11
1.6 語彙選択誤り [lxc]	11
2. 動詞に関する誤り [v]	12
2.1 活用に関する誤り [inf]	12
2.2 主語-動詞の人称・数の不一致 [agr]	12
2.3 動詞の形の選択誤り [fml]	12
2.4 動詞の時制の誤り [tns]	13
2.5 相の誤り [asp]	14
2.6 動詞の態の誤り [vo]	14
2.7 動詞の定形・不定形の選択誤り [fin]	15
2.8 否定形に関する誤り [ng]	16
2.9 動詞の疑問形に関する誤り [qst]	16
2.10 補部の誤り [cmp]	16
2.11 語彙選択誤り [lxc]	17
3. 助動詞に関する誤り [mo]	17
3.1 語彙選択誤り [lxc]	17
4. 形容詞に関する誤り [aj]	18

4.1	活用に関する誤り [inf]	18
4.2	原形・比較級・最上級の用法の誤り [us]	18
4.3	形容詞の数に関する誤り [num]	19
4.4	数の不一致[agr]	19
4.5	(修飾語としての) 数量詞に関する誤り [qnt]	19
4.6	補部の誤り [cmp]	20
4.7	語彙選択誤り [lxc]	20
5.	副詞に関する誤り [av]	21
5.1	活用に関する誤り [inf]	21
5.2	原形・比較級・最上級の用法の誤り [us]	21
5.3	副詞の位置に関する誤り [pst]	22
5.4	語彙選択誤り [lxc]	22
6.	前置詞に関する誤り [prp]	23
6.1	補部の誤り [cmp]	23
6.2	語彙選択誤り [lxc1][lxc2]	23
6.2.1	語彙選択誤り 1－普通の前置詞(lexical1)[lxc1]	23
6.2.2	語彙選択誤り 2－従属前置詞(lexical2)[lxc2]	24
7.	冠詞に関する誤り [at]	24
8.	代名詞に関する誤り [pn]	25
8.1	活用の誤り [inf]	25
8.2	数・性別の一致に関する誤り [agr]	25
8.3	格に関する誤り [cs]	26
8.4	語彙選択誤り [lxc]	26
9.	接続詞に関する誤り [con]	26
9.1	語彙選択誤り [lxc]	26
10.	関係詞に関する誤り [rel]	27
10.1	格の誤り [cs]	27
10.2	語彙選択誤り [lxc]	27
11.	疑問詞に関する誤り [itr]	27
11.1	語彙選択誤り [lxc]	27
12.	その他の誤り [o]	28
12.1	和製英語 [je]	28

12.2 2 単語以上の語彙選択誤り(連語・コロケーション・慣用表現)[lxc]	28
12.3 語順の誤り[odr]	28
12.4 種類が特定できない誤り[uk]	29
12.5 発話意図不明[uit]	29
13. エラータグに関連して付与されるタグ	29
13.1 文頭文字変更[cap]	29
参考文献	29

はじめに

この文書は、書き起こしテキストへのエラータグ付与作業の際、タグ付与作業者に示されたインストラクションを簡略化したものである。

エラータグ付与時の注意点

エラータグ付与の対象は、巻末付録①「The NICT JLE Corpus 書き起し・タグ付与ガイドライン ver. 2.1.3」に沿って作成された書き起しファイルのうち、フィルター<F>・繰り返し<R>/<R?>・自己訂正<SC>/<SC?>タグが付与されている以外の箇所とする。タグの付与範囲は種類によって異なる。(詳細については、各タグの説明項目を参照されたい。)

エラータグの構成

各タグは、XMLのフォーマットに準拠しており、開始タグ <品詞など_システム など crr="訂正候補"> ... (エラー部分) 終了タグ </品詞など_システム など> という構成になっている。一つの誤りに対するタグの選択は、レベル1(品詞など) □ レベル2(システム・ルールなど) の順で項目を組み合わせ、決定する。(一部レベル1までのものもある。)訂正候補が二つ以上ある場合は、crr="X" crr2="Y" crr3="Z" という風にナンバリングしていく。

連鎖的に付与されるタグ

本エラータグセットおよびタグ付与方法は、誤りを含んだ文を正しい文に復帰させることを目的としている。このことから、あるエラータグを付与することによって、本来は学習者による誤りでない部分にも連鎖的にタグを付与しなければならない例が出てくる。主な例を以下に挙げる。

学習者の発話: *He wears a thick glass.

目標文: He wears thick glasses.

タグ付け:

He wears <at crr="">a</at> thick <n_num crr="glasses">glass</n_num>.

この発話において学習者が直接犯した誤りは“glasses”を“glass”とした名詞の単複誤り(<n_num>)である。この誤りを訂正することによって不定冠詞“a”を取り除くためのタグ付けを行う必要が出てくる。しかし本来学習者は単数名詞に

“a”を付けており、それ自体は誤りではない。本タグ付与作業では、このような「学習者の直接的誤り」と「学習者による直接的な誤りではないが、学習者の直接的誤りを訂正することによって連鎖的に訂正が必要となる誤り」の両方を対象とする。

その他注意事項

- ◇ 一つの誤りを修正する場合複数の訂正候補が考えられる場合がある。付与するタグおよび付与範囲が同一の場合は `crr="X" crr2="Y" …` という風に正解を複数挙げるだけでよい。訂正候補によって付与タグや訂正範囲が変わる場合は、文を改造する工程が最短になる訂正候補を採用すること。
- ◇ エラータグ付与の対象はあくまでも「文法的・語彙的」誤りのみとする。常識や世界知識レベルでの誤りは対象としない。どちらの類の誤りか判断に迷う場合はタグ付けしておく。
- ◇ 一箇所に 2 つ以上の誤りが存在している場合、目標文にたどり着くまでの過程を一つ一つ踏むようにタグ付けする(= 2 重以上ののタグ付けもあり得る)。

ex) The girl is using the personal computer.

○*The girl `<v_tns crr="is using"><v_agr crr="uses">use</v_agr>`
`</v_tns>` the personal computer.

×*The girl `<v_tns crr="is using">use</v_tns>` the personal computer.

- ◇ 一文内のエラータグの付与の順序情報として、`odr="X"`を追加する。X 部分には、任意の数字が入る。
- ◇ 上記で述べられているような、連鎖的に付与されるエラータグには、`ch="X"`という属性を加える。“X”には、そのタグが付与される要因となったタグの付与順番(`odr="X"`)の番号を入れる。

エラータグの種類（全 47 種類）

名詞(noun)[n]

- +---活用の誤り [inf]
- +---単複の誤り [num]
- +---格の誤り [cs]
- +---可算・不可算名詞の使い分けの誤り [cnt]
- +---補部の誤り [cmp]
- +---語彙選択の誤り [lxc]

動詞(verb)[v]

- +---活用の誤り [inf]
- +---主語・動詞の人称・数の不一致 [agr]
- +---形の選択誤り [fml]
- +---時制の誤り [tns]
- +---相の誤り [asp]
- +---態の誤り [vo]
- +---定形・不定形の選択誤り [fin]
- +---否定形に関する誤り [ng]
- +---疑問形に関する誤り [qst]
- +---補部の誤り [cmp]
- +---語彙選択誤り [lxc]

助動詞(modal verb)[mo]

- +---語彙選択誤り [lxc]

形容詞(adjective)[aj]

- +---活用の誤り [inf]
- +---原級・比較級・最上級の用法に関する誤り [us]
- +---数の誤り [num]
- +---数・性別の不一致 [agr]
- +---（修飾語としての）数量詞に関する誤り [qnt]

- +---補部の誤り [cmp]
- +---語彙選択誤り [lxc]

副詞(adverb)[av]

- +---活用の誤り [inf]
- +---原級・比較級・最上級の用法に関する誤り [us]
- +---位置の誤り [pst]
- +---語彙選択誤り [lxc]

前置詞(preposition)[prp]

- +---補部の誤り [cmp]
- +---語彙選択誤り 1－普通の前置詞[lxc1]
- +---語彙選択誤り 2－従属前置詞[lxc2]

冠詞 (article) [at] (注：レベル 1 まで)

代名詞(pronoun)[pn]

- +---活用の誤り [inf]
- +---数・性別の不一致[agr]
- +---格に関する誤り [cs]
- +---語彙選択誤り [lxc]

接続詞[con]

- +---語彙選択誤り [lxc]

関係詞(relative)[rel]

- +---格の誤り [cs]
- +---語彙選択誤り [lxc]

疑問詞(interrogative)[itr]

- +---語彙選択誤り [lxc]

その他の誤り(others)[o]

+---和製英語[je]

+---2単語以上の語彙選択誤り（連語・コロケーション・慣用表現）[lxc]

+---語順の誤り[odr]

+---種類が特定できない誤り(unknown)[uk]

+---発話意図が不明[uit]

エラータグに関連して付与されるタグ

文頭文字変更(capitalization)[cap]

1. 名詞に関する誤り [n]

1.1 活用に関する誤り[inf]

タグ : <n_inf crr="X">…</n_inf>

1.1-a 複数形への活用誤り

名詞の複数形への活用が誤っている場合 (= 辞書に載っていない形の場合) に、その名詞部分に付与する。複合名詞の場合は、名詞句全体を括るのではなく、誤った形をしている名詞にのみ付与。

ex) How many children do you have?

*How many <n_inf crr="children">childs<n_inf> do you have?

<混同注意>

- ◇ 不可算名詞・集合名詞に **-s/-es** を付けている場合にはこのタグは付与しない。
(タグ<n_cnt>を付与.)
- ◇ **glasses/trousers** のように常にもしくは意味によって複数形でのみ用いられる語が単数形になっている場合はこのタグを付与しない。(タグ<n_cnt>を付与.)

1.1-b 所有格形の誤り

名詞の所有格形への活用が誤っている場合、その名詞部分に付与する。

ex) a girls' school

*a <n_inf crr="girls">girls's</n_inf> school

<混同注意>

- ◇ 所有格か、「of + 名詞」かの選択に関する誤りにはこのタグは付与しない。
名詞の格の誤りとする。(タグ<n_cs>を付与.)

1.2 名詞の単複に関する誤り[num]

タグ : <n_num crr="X">…</n_num>

単数形であるべき名詞が複数形で、複数形であるべき名詞が単数形で使われてい

る場合にこのタグを付与する。付与範囲はその名詞のみとする。

ex) This is the only one thing you have to do now.

*This is the only one <n_num crr="thing">things</n_num> you have to do.

<混同注意>

- ☆ 不可算名詞・集合名詞に **-s/-es** を付けている場合にはこのタグは付与しない。(タグ<n_cnt>を付与.)
- ☆ 名詞の複数形への活用誤りにはこのタグは付与しない。(タグ<n_inf>を付与.)
- ☆ 成句内で、常に単数形もしくは複数形で使用されると決まっているものにはこのタグは付与しない。(タグ<o_lxc>を付与.)

1.3 名詞の格に関する誤り[cs]

タグ : <n_cs crr="X">…</n_cs>

名詞が適切な格形で使われていない場合このタグを付与する。付与範囲は、単独名詞の場合はその名詞のみ。所有を表す名詞句の場合は名詞句全体とする。

ex) my friend's house

*my <n_cs crr="friend's house">friend house</n_cs>

<混同注意>

- ☆ 所有格の 's の付け方に誤りがある場合 (girls's など) にはこのタグは付与しない。

ex) a girls' school

*a <n_inf crr="girls'">girls's</n_inf> school

1.4 可算/不可算名詞の使い分けの誤り[cnt]

タグ : <n_cnt crr="X">…</n_cnt>

名詞の可算・不可算の使い分けを誤っていた場合、その名詞に付与する。誤って不定冠詞 a/an が付いている場合はその不定冠詞も一緒に括る。

ex) Apart from a few scratches, the rosewood chairs were in excellent condition.

*Apart from a few stains, the dress were in good `<n_cnt crr="condition">conditions</n_cnt>`.

1.5 補部の誤り[cmp]

タグ : `<n_cmp crr="X">…</n_cmp>`

名詞の補部となる箇所がその名詞に適切な形でない場合、名詞と補部に一括でタグを付与する。

ex) He has an ability to get on with people is.

*He has an `<n_cmp crr="ability to get">ability of getting</n_cmp>` on with people.

<混同注意>

☆ 名詞に結合する従属前置詞に関する誤りにはこのタグは付与しない。

ex) He took full advantage of his position.

*He took full advantage `<prp_lxc2 crr="of">with</prp_lxc2>` his position.

1.6 語彙選択誤り[lxc]

タグ : `<n_lxc crr="X">…</n_lxc>`

適切な語彙が使われていない場合、このタグを付与する。付与範囲は、原則として適切でない単語のみとする。また、名詞の脱落・余剰のうち先に挙げた文法的誤りに属さないようなものにもこのタグを付与する。辞書に載っていなかったり、一般的でない、学習者個人の勝手な造語などにもこのタグを付与する。

ex) She listened to his speech.

*She listened to his `<n_lxc crr="speech">speech</n_lxc>`.

<混同注意>

- ☆ 2語以上の修正が必要なものやセットフレーズ・コロケーションの中の一語が誤っているものにはこのタグは付与しない。<o_lxc> タグを付与する。

2. 動詞に関する誤り [v]

2.1 活用に関する誤り [inf]

タグ : <v_inf crr="X">…</v_inf>

動詞の過去形・過去完了形への活用が誤っている場合 (= 辞書に載っていない形の場合) に, その動詞部に付与する。

ex) He oppsed it.

*He <v_inf crr="opposed">opposited</v_inf> it.

<混同注意>

- ☆ 数・人称一致に関する誤りにはこのタグを付与しない。

ex) The number of students who work part-time after school has been increasing.

*The number of students who work part-time after school <v_agr crr="has">have</v_agr> been increasing.

- ☆ 時制に関する誤りにはこのタグは付与しない (タグ<v_tns>を付与)。

2.2 主語-動詞の人称・数の不一致[agr]

タグ : <v_agr crr="X">…</v_agr>

動詞の人称・数が主語に一致していない場合, その動詞部に付与。

ex) The number of students who work part-time after school has been increasing.

*The number of students who work part-time after school <v_agr crr="has been increasing">have been increasing</v_agr>.

2.3 動詞の形の選択誤り[fml]

タグ : <v_fml crr="X">…</v_fml>

動詞がある文脈で適切な形 (原形・現在分詞形・過去分詞形) になっていない場

合, その動詞部に付与.

ex) My parents encouraged me to become a teacher.

*My parents encouraged me to <v_fml crr="become">becoming</v_fml> a teacher.

<混同注意>

☆ 数・人称に関する誤りにはこのタグは付与しない.

ex) The number of students who work part-time after school has been increasing.

*The number of students who work part-time after school <v_agr crr="has been increasing">have been increasing</v_agr>.

☆ 時制に関する誤りにもこのタグは付与しない.

ex) If you go to Vancouver, be sure to take a day trip to Victoria.

*If you <v_tns crr="go">will go</v_tns> to Vancouver, be sure to take a day trip to Victoria.

☆ 動詞の活用に関する誤りにもこのタグは付与しない.

ex) He hit her unintentionally.

*He <v_inf crr="hit">hitted</v_inf> her unintentionally.

☆ 動詞の補部の誤りにもこのタグは付与しない.

ex) The advertisement makes people understand how dangerous drugs can be.

*The advertisement <v_cmp crr="makes people understand">makes people to understand</v_cmp> how dangerous drugs can be.

2.4 動詞の時制の誤り[tns]

タグ : <v_tns crr="X">…</v_tns>

以下のような動詞の時制に関するルールに反し, 適切な時制が使われていない場合に, 助動詞・動詞部に付与.(目的語等は含まない.)ただし, 疑問文の場合は, 主語を含んだ部分を括ることになる.

ex) I'll make reservations for the ferry as soon as I find out the schedule.

*I'll make reservations for the ferry as soon as I <v_tns crr="find">will find</v_tns> out the schedule.

<混同注意>

☆ 動詞の活用形の誤りについてはこのタグは付与しない.

ex) *He <v_inf crr="left">leaved</v_inf> home at seven this morning.

☆ 人称に関する誤りについてもこのタグは付与しない.

ex) *He <v_agr crr="gets">get</v_agr> up at six every morning.

☆ 進行形の動詞が -ing になっていない, 完了形の動詞が過去分詞形になっていない, 等の誤りにもこのタグは付与しない.

ex) *I'm already <v_fml crr="looking">look</v_fml> forward to your next visit.

2.5 相の誤り[asp]

タグ : <v_asp crr="X">…</v_asp>

動詞の相が不適切な場合このタグを付与する. 付与範囲は動詞部のみとする.

ex) The people in front of me didn't know the reality.

*The people in front of me <v_asp crr="didn't know">were not knowing</v_asp> the reality.

2.6 動詞の態の誤り[vo]

タグ : <v_vo crr="X">…</v_vo>

動詞が適切な態になっていない場合, 動詞部に付与する. 文全体の修正が必要な場合は文全体に付与し, 訂正文を挙げる.

ex) There have been several escapes from the prison.

*<v_vo crr="There have been several escapes from the prison">The prison has been escaped several times</v_vo>.

<混同注意>

☆ 動詞が過去分詞形以外になっている, という誤りにはこのタグは付与しない

ex) All successful applicants will be notified by E-mail.

*All successful applicants will be <v_fml crr="notified">notify</v_fml>
by E-mail.

☆ 動詞の活用誤りにもこのタグは付与しない.

ex) I was beaten by my father.

*I was <v_inf crr="beaten">beated</v_inf> by my father.

☆ ただし、次のような例だと両方のタグが付くことになる.

ex) I was beaten by my father.

*I <v_vo crr="was beaten"><v_inf crr="beaten">beated</v_inf></v_vo> by my father.

2.7 動詞の定形・不定形の選択誤り[fin]

タグ : <v_fin crr="X">…</v_fin>

動詞は不定形（不定詞・分詞・動名詞）でなければいけない場合と、定形（人数・数・時制・法によって形が限定される）でなければいけない場合がある。正しい形になっていない場合、その動詞のみにこのタグを付与する。

ex) It would be a crime to cut down any more trees.

*It would be a crime <v_fin crr="to cut">cutting</v_fin> down any more trees.

<混同注意>

☆ 別の動詞の補部として現れる動詞の形が誤っている場合にはこのタグは付与しない.

ex) I want to write a letter.

*I <v_cmp crr="want to write">want write</v_cmp> a letter.

☆ It + be + 形容詞(+ of ~) + 不定詞 の構文中で「不定詞」以外の形になっている場合はこのタグは付与しない.

ex) He found it easy to earn extra money.

*He found it <aj_cmp crr="easy to earn">easy earning</aj_cmp> extra money.

2.8 否定形に関する誤り[ng]

タグ : <v_ng crr="X">…</v_ng>

動詞の否定形に関する誤りにこのタグを付与する。付与範囲は、否定を表す助動詞および本動詞を含む。主語や目的語または副詞が否定表現に絡む場合は、それらも含める。文全体がおかしい場合は全体をタグで括り、crr には訂正文候補を挙げる。

ex) Sometimes our teacher does not allow us to use a dictionary.

*Sometimes our teacher <v_ng crr="does not allow">not allow</v_ng> us to use a dictionary.

2.9 動詞の疑問形に関する誤り[qst]

タグ : <v_qst crr="X">…</v_qst>

動詞の疑問形全般（語順誤りも含む）に関する誤りにこのタグを付与する。付与範囲は原則として修正が必要な任意の箇所とするが、助動詞が付く場合は「助動詞+主語+本動詞」すべてを含め、wh ワードが主語の場合は本動詞のみとする。

ex) Where are you going tonight?

*Where <v_qst crr="are you going">you are going</v_qst> tonight?

2.10 補部の誤り[cmp]

タグ : <v_cmp crr="X">…</v_cmp>

それぞれの動詞が取り得る補部が適切な形になっていない場合や自動詞・他動詞の混同を対象に、主動詞・補部を一括してタグを付与。補部の形は、原形不定詞・to 不定詞・動名詞・過去分詞・that 節のいずれかである。

ex) The advertisement makes people understand how dangerous drugs can be.

*The advertisement <v_cmp crr="makes people understand">makes people to understand</v_cmp> how dangerous drugs can be.

<混同注意>

☆ 従属前置詞を伴う動詞に関する誤りにはこのタグを付与しない.

ex) Tom's teacher accused him of cheating in the exam.

*Tom's teacher accused him <prp_lxc2 crr="of">about</prp_lxc2>
cheating in the exam.

2.11 語彙選択誤り[lxc]

タグ : <v_lxc crr="X">…</v_lxc>

適切な語彙が使われていない場合, このタグを付与する. 付与範囲は, 原則として適切でない単語のみとする. 動詞の脱落・余剰のうち先に挙げた文法的誤りに属さないようなものにもこのタグを付与する. 辞書に載っていなかったり, 一般的でない, 学習者個人の勝手な造語などにもこのタグを付与する.

ex) He wanted to conceal his guilt.

*He wanted to <v_lxc crr="conceal">cancel</v_lxc> his guilt.

<混同注意>

2 語以上の修正が必要なものやセットフレーズ・コロケーションの中の一語が誤っているものにはこのタグは付与しない. <o_lxc> タグを付与する.

3. 助動詞に関する誤り[mo]

3.1 語彙選択誤り[lxc]

タグ : <mo_lxc crr="X">…</mo_lxc>

助動詞が適切に使われていない場合, その助動詞部分にタグを付与する. (not なども含める. 本動詞は含まない.) また, 名詞の脱落・余剰のうち先に挙げた文法的誤りに属さないようなものにもこのタグを付与する. 辞書に載っていなかったり, 一般的でない, 学習者個人の勝手な造語などにもこのタグを付与する.

ex) "The phone's ringing." "I'll answer it."

"The phone's ringing." "*I <mo_lxc crr="will">'m going to</mo_lxc>
answer it."

<混同注意>

- ◇ 2語以上の修正が必要なものやセットフレーズ・コロケーションの中の一語が誤っているものにはこのタグは付与しない。(<o_lxc> タグを付与する.)
- ◇ 助動詞の後ろに来る動詞の形の誤りはこの種類のエラーとは考えない。

ex) She felt that she could never go home again.

*She felt that she could never <v_fml crr="go">gone</v_fml> home again.

- ◇ 語順に関する誤りにもこのタグは付与しない。(<o_odr> タグを付与.)
- ◇ 時制に関する誤りにもこのタグは付与しない。(<v_tns> タグを付与.)

4. 形容詞に関する誤り [aj]

4.1 活用に関する誤り [inf]

タグ : <aj_inf crr="X">…</aj_inf>

形容詞の比較級・最上級への活用が誤っている場合に、その形容詞部に付与する、最上級の場合でも、定冠詞まで括るのではなく、形容詞部のみ。特に不規則変化するものには注意。

ex) My younger brother is already taller than our father.

*My younger brother is already <aj_inf crr="taller">more tall</aj_inf> than our father.

<混同注意>

- ◇ 最上級の the が抜けている場合はこのタグは付与しない。

ex) The temple was the most elegant building in the area.

*The temple was <at crr="the">a</at> most elegant building in the area.

4.2 原形・比較級・最上級の用法の誤り [us]

タグ : <aj_us crr="X">…</aj_us>

原形・比較級・最上級の使い分けが適切でない場合このタグを付与する。

ex) Jane is taller than Mary, but Mary is the better basketball player.

*Jane is taller than Mary, but Mary is the <aj_us
crr="better">best</aj_us> basketball player.

4.3 形容詞の数に関する誤り[num]

タグ : <aj_num crr="X">…</aj_num>

the + 形容詞で，人（複数名詞扱い）を表す例がある．

その際，形容詞に複数接尾辞の -s を付けている場合，その形容詞部にこのタグを付与．

ex) She worked hard to help the poor.

*She worked hard to help the <aj_num crr="poor">poors</aj_num>.

4.4 数の不一致[agr]

タグ : <aj_agr crr="X">…</aj_agr>

指示形容詞と修飾される名詞の数は一致しなければならない．適切な指示形容詞が選択されていない場合，このタグを付与する．付与範囲は指示形容詞のみとする．

ex) This beach was quite empty last year.

*<aj_agr crr="This">These</aj_agr> beach was quite empty last year.

<混同注意>

☆ 人称代名詞の所有格の誤りにはこのタグは付与しない．<pn_**> 系のタグを付与すること．

4.5 （修飾語としての）数量詞に関する誤り[qnt]

タグ : <aj_qnt crr="X">…</aj_qnt>

数量詞が適切に使われていない場合このタグを付与する．付与範囲は原則として数量詞のみとする．

ex) There was very little traffic on the road.

*There was very <aj_qnt crr="little">few</aj_qnt> traffic on the road.

<混同注意>

☆ each/every などの後ろに複数可算名詞が来ている場合や many/both/several などの後ろに単数可算名詞や不可算名詞・集合名詞が来ている場合はこのタグは付与せず，名詞部に名詞の単複エラータグを付与.

ex) This is the only one thing you have to do now.

*This is the only one <n_num crr="thing">things</n_num> you have to do now.

4.6 補部の誤り[cmp]

タグ : <aj_cmp crr="X">…</aj_cmp>

形容詞は一定の意味を表す構文の中で，決まった形の補部と結合する．補部は to 不定詞，that 節 のいずれかになる．補部の形が適切でない場合，形容詞部と補部を一括でタグ付与する．文構造全体にかかわる場合は文全体にタグを付与する．

ex) It was kind of you to help him.

*It was <aj_cmp crr="kind of you to help">kind of you helping</aj_cmp> him.

<混同注意>

☆ 形容詞に結合する従属前置詞に関する誤りにはこのタグは付与しない.

ex) According to the paper, there was an earthquake in Peru.

*According <prp_lxc2 crr="to">with</prp_lxc2> the paper, there was an earthquake in Peru.

4.7 語彙選択誤り[lxc]

タグ : <aj_lxc crr="X">…</aj_lxc>

適切な語彙が使われていない場合，このタグを付与する．付与範囲は，原則として適切でない単語のみとする．形容詞の脱落・余剰のうち先に挙げた文法的誤りに属さないようなものにもこのタグを付与する．辞書に載っていなかったり，一般的でない，学習者個人の勝手な造語などにもこのタグを付与する．

ex) It was a genuine diamond.

*It was a <aj_lxc crr="genuine">genius</aj_lxc> diamond.

<混同注意>

☆ 2語以上の修正が必要なものやセットフレーズ・コロケーションの中の一語が誤っているものにはこのタグは付与しない。<o_lxc> タグを付与する。

5. 副詞に関する誤り [av]

5.1 活用に関する誤り [inf]

タグ : <av_inf crr="X">…</av_inf>

副詞の比較級・最上級への活用が誤っている場合に、その副詞部に付与する。最上級の場合でも、定冠詞まで括るのではなく、副詞部のみ。特に不規則変化する語については注意。

ex) It was such a beautiful day that I walked farther than I usually do.

*It was such a beautiful day that I walked <av_inf crr="farther">more far</av_inf> than I usually do.

<混同注意>

☆ 最上級に定冠詞 the を付け忘れていても、このタグは付与しない。

ex) Who can run the fastest?

*Who can run <at crr="the"></at> fastest?

5.2 原形・比較級・最上級の用法の誤り[us]

タグ : <av_us crr="X">…</av_us>

比較級であるべきところで最上級を用いている、など原形・比較級・最上級の使い分けが適切でない場合このタグを付与する。

ex) She came back more quickly than me.

*She came back <av_us crr="more quickly">most quickly</av_us> than me.

5.3 副詞の位置に関する誤り[pst]

タグ : `<av_pst crr="X">…</av_pst>`

副詞が文中で適切な位置で使われていない場合にこのタグを付与する。付与範囲はその副詞の位置が変わることによって移動が必要となる語すべてとする。それらの語を正しい語順に並べ替えたものを訂正候補とする。このタグに限っては、訂正候補が 2 つ以上あっても、うち 1 つのみを示せば良いこととする。(訂正候補によってタグの付与範囲が変わる可能性があるため。)

ex) I often have difficulty in understanding her.

*I `<av_pst crr="often have difficulty">`have difficulty `</av_pst>` in understanding her.

<混同注意>

- ✧ このタグは単語レベルの副詞のみを対象とする。
- ✧ 単語レベルの副詞が 2 つ以上連鎖する場合で、その副詞間の語順に誤りがある場合はこのタグを付与しない。
- ✧ 単語レベルの副詞と副詞句が連鎖する場合で、その副詞と副詞句間の語順に誤りがある場合はこのタグを付与しない。
- ✧ 副詞句の位置の誤りにはこのタグは付与しない。
→ これらの誤りには `<o_odr>` タグを付与する。

5.4 語彙選択誤り[lxc]

タグ : `<av_lxc crr="X">…</av_lxc>`

適切な語彙が使われていない場合、このタグを付与する。付与範囲は適切でない単語のみとする。副詞の脱落・余剰のうち先に挙げた文法的誤りに属さないようなものにもこのタグを付与する。辞書に載っていなかったり、一般的でない、学習者個人の勝手な造語などにもこのタグを付与する。

ex) He worked hard today.

*He worked `<av_lxc crr="hard">`hardly`</av_lxc>` today.

<混同注意>

- ☆ 2語以上の修正が必要なものやセットフレーズ・コロケーションの中の一語が誤っているものにはこのタグは付与しない。<o_lxc> タグを付与する。

6. 前置詞に関する誤り[prp]

6.1 補部の誤り[cmp]

タグ : <prp_cmp crr="X">…</prp_cmp>

前置詞は原則として名詞または代名詞・動名詞の前に置かれる。前置詞の補部が誤った形で使われていた場合、その前置詞句全体にタグを付与する。

ex) I look forward to seeing you again.

*I look forward <prp_cmp crr="to seeing">to see</prp_cmp> you again.

<混同注意>

- ☆ 前置詞はしばしば接続詞と混同される。

ex) You must visit us during your stay in London.

*You must visit us <prp_lxc1 crr="during">while</prp_lxc1> your stay in London.

ただし、この類の誤りのように、前置詞部を別の言葉に容易に置き換えられるケースには、このタグを付与しない。補部はあくまでもそのままにし、“while”が“during”に置き換えられたと考えると、接続詞の語彙選択誤りとする。(タグ<con_lxc>を付与.)

6.2 語彙選択誤り[lxc1][lxc2]

適切な語彙が使われていない場合、これらのタグを付与する。付与範囲は、原則として適切でない単語のみとするが、連語などの場合は全体にタグを付与する。辞書に載っていなかったり、一般的でない、学習者個人の勝手な造語などにもこれらのタグを付与する。lxc1 と lxc2 の違いについては以下を参照。

6.2.1 語彙選択誤り 1－普通の前置詞(lexical1)[lxc1]

タグ : <prp_lxc1 crr="X">…</prp_lxc1>

6.2.2 に挙げる従属接続詞以外の一般的な前置詞の語彙選択誤りに対してこのタグを付与する。必要な前置詞が抜けている場合や不必要な前置詞が付いている場合もこのタグを付与する。

ex) The bus for Shinjuku has been taken off.

*The bus for Shinjuku has been taken <prp_lxc1
crr="off">up</prp_lxc1>.

<混同注意>

他動詞の役目をする句動詞内の従属前置詞の選択誤りにはこのタグは付与しない。

ex) Tom's teacher accused him of cheating in the exam.

*Tom's teacher accused him <prp_lxc2 crr="of">about</prp_lxc2>
cheating in the exam.

6.2.2 語彙選択誤り 2－従属前置詞[lexical2][lxc2]

タグ : <prp_lxc2 crr="X">…</prp_lxc2>

名詞・動詞・形容詞などに続く従属前置詞の語彙選択誤りにこのタグを付与する。
付与範囲は従属前置詞のみとする。

ex) He took full advantage of his position.

*He took full advantage <prp_lxc2 crr="at">with</prp_lxc2> his position.

7. 冠詞に関する誤り[at]

タグ : <at crr="X">…</at>

冠詞の選択誤り，冠詞の付け忘れ，冠詞の余剰な付与といった冠詞に関する誤りがあった場合に，

- ・冠詞の選択誤りの場合はその誤った冠詞やその他の語に，
 - ・冠詞の付け忘れの場合は本来冠詞が来るべき場所に空で，
 - ・冠詞の余剰な付与の場合はその余剰な冠詞に，
- … それぞれタグを付与する。

ex) She is active in the development of low cost water pumps.

*She is active in <at crr="the">a</at> development of low cost water pumps.

<混同注意>

☆ 不可算名詞・集合名詞に a/an が付いている場合はこのタグを付与しない.

ex) I don't want any advice or help. I want some information.

*I don't want an advice or help. I want <n_cnt crr="information">an
information</n_cnt>.

☆ コロケーションや連語，連結表現などセットフレーズ内の冠詞の誤りにはこのタグを付与しない.

ex) The interviewee is thinking for a while.

*The interviewee is thinking <o_lxc crr="for a while">for the
while</o_lxc>.

8. 代名詞に関する誤り[pn]

注:名詞の前に来て限定詞の役割を果たす指示形容詞はこのタグの対象とせず，<aj_agr> タグの対象とする.

8.1 活用の誤り[inf]

タグ : <pn_inf crr="X">…</pn_inf>

代名詞の活用が適切でない場合，このタグを付与する．付与範囲は代名詞のみとする．

ex) Everybody was laughing and enjoying themselves.

*Everybody was laughing and enjoying<pn_inf
crr="themselves">themselves</pn_inf>.

8.2 数・性別の一致に関する誤り[agr]

タグ : <pn_agr crr="X">…</pn_agr>

代名詞と照応する名詞の数・性が一致していない場合このタグを付与する．付与範囲は代名詞のみとする．

ex) This report looks at teaching aids and how they help teachers.

*This report looks at teaching aids and how <pn_agr

crr="they">it</pn_agr> helps teachers.

8.3 格に関する誤り[cs]

タグ : <pn_cs crr="X">…</pn_cs>

代名詞の格が適切でない場合このタグを付与する. 付与範囲は代名詞のみとする.

ex) I took Martin and a friend of his to Teotihuacan.

*I took Martin and a friend of <pn_cs crr="his">him</pn_cs> to Teotihuacan.

8.4 語彙選択誤り[lxc]

タグ : <pn_lxc crr="X">…</pn_lxc>

適切な語彙が使われていない場合, このタグを付与する. 付与範囲は, 原則として適切でない単語のみとする. 代名詞の脱落・余剰のうち先に挙げたような文法的誤りに属さないものにもこのタグを付与する. 辞書に載っていなかったり, 一般的でない, 学習者個人の勝手な造語などにもこのタグを付与する.

ex) I often ask myself why I work so hard.

*I often ask <pn_lxc crr="myself">me</pn_lxc> why I work so hard.

9. 接続詞に関する誤り[con]

9.1 語彙選択誤り[lxc]

タグ : <con_lxc crr="X">…</con_lxc>

適切な接続詞が使われていない場合, このタグを付与する. 付与範囲は原則として適切でない単語のみとする. また接続詞の脱落・余剰にもこのタグを付与する, 辞書に載っていなかったり, 一般的でない, 学習者個人の勝手な造語などにもこのタグを付与する.

ex) Clint hit a home run, but I didn't.

*Clint hit a home run, <con_lxc crr="but">and</con_lxc> I didn't.

10. 関係詞に関する誤り[rel]

10.1 格の誤り[cs]

タグ : <rel_cs crr="X">…</rel_cs>

関係詞が適切な格でない場合、このタグを付与する。付与範囲は、原則として適切でない関係詞のみとする。

ex) I telephoned all his friends, none of whom could tell me where he was.

*I telephoned all his friends, none of <rel_cs crr="whom">who</rel_cs> could tell me where he was.

10.2 語彙選択誤り[lxc]

タグ : <rel_lxc crr="X">…</rel_lxc>

適切な語彙が使われていない場合、このタグを付与する。付与範囲は、原則として適切でない単語のみとするが、連語などの場合は全体にタグを付与する。関係詞の脱落・余剰にもこのタグを付与する。辞書に載っていなかったり、一般的でない、学習者個人の勝手な造語などにもこのタグを付与する。

ex) Our friends took us to see several old castles, which are the pride of France.

Our friends took us to see several old castles, <rel_lxc crr="which">who</rel_lxc> are the pride of France.

11. 疑問詞に関する誤り[itr]

11.1 語彙選択誤り[lxc]

タグ : <itr_lxc crr="X">…</itr_lxc>

適切な語彙が使われていない場合、このタグを付与する。付与範囲は、原則として適切でない単語のみとするが、連語などの場合は全体にタグを付与する。疑問詞の脱落・余剰にもこのタグを付与する。辞書に載っていなかったり、一般的でない、学習者個人の勝手な造語などにもこのタグを付与する。

ex) Which would you like to eat, Japanese or Chinese food?

*<itr_lxc crr="Which">What</itr_lxc> would you like to eat, Japanese or

Chinese food?

12. その他の誤り [o]

12.1 和製英語 [je]

タグ : <o_je crr="X">…</o_je>

和製英語にこのタグを付与する.

【和製英語の例】

アクセル(akuseru)／アパート(apaato)／イギリス(igirisu)／イラスト(irasuto)
／イントロ(intoro)／オランダ(oranda)／カーナビ(kaanabi)／カレーライス
(kareeraisu)／コロッケ(korokke)／コンパ(konpa)／G ジャン(G-jan)／デパート
(depaat)／テレビ(terebi)／トイレ(toire)／(球技の) バレー(baree)／ピーマン
(piiman)／ラジカセ(rajikase)／レジ(reji)／ロースハム(roosuhamu)／Y シャツ
(Y-syatsu)

12.2 2 単語以上の語彙選択誤り(連語・コロケーション・慣用表現)[lxc]

タグ : <o_lxc crr="X">…</o_lxc>

語彙選択誤りのうち, セットフレーズやコロケーションなど 2 単語以上の複数の
語・品詞をまたがるものにこのタグを付与する. 一単語のみの修正にとどまる場
合はこのタグではなく, 各品詞の語彙選択エラータグを付与する.

ex) He made an attempt at the conquest of the peak.

*He <o_lxc crr="made an attempt">had an attempt</o_lxc> at the
conquest of the peak.

12.3 語順の誤り[odr]

タグ : <o_odr crr="…">…</o_odr>

文の構成要素が誤った順序で現れている場合, このタグを付与する. 付与範囲は
語順替えにかかわる語すべてとする. 主な例を以下に示す.

ex) When did you buy that large old brown wooden table?

*When did you buy that <o_odr crr="large old brown wooden">old brown
large wooden</o_odr> table?

12.4 種類が特定できない誤り[uk]

タグ : <o_uk crr="X">…</o_uk>

1.1 ~ 12.3 節までの間どの種類にも属さない, または種類を判断し兼ねるが, 発話者の意図の推測は可能で, 訂正候補を挙げることのできる誤りにこのタグを付与する. タグ付与範囲は任意とする.

ex) The door is open.

*<o_uk crr="The door is open">Open the door</o_uk>.

12.5 発話意図不明[uit]

タグ : <o_uit>…</o_uit>

発話の内容が意味不明で, 訂正候補の推測が不可能な場合にこのタグを付与する. 付与範囲は任意とする.

13. エラータグに関連して付与されるタグ

13.1 文頭文字変更[cap]

タグ : <cap crr="X">…</cap>

エラータグ付与によって文頭に新たな語が追加されるなどして, エラータグ付与前の書き起こしにおける文頭文字の大文字・小文字の使い分けを変更しなければならない場合, このタグを付与する.

ex) The interview is almost over.

*<at odr="1" crr="The"></at> <cap crr="interview">Interview</cap> is almost over.

ex) Last week, I went to Britain.

*<at crr="">The</at> <cap crr="Last">last</cap> week, I went to Britain.

参考文献

Akmajian, A., An Introduction to Language and Communication, The MIT Press, (1995)

Barnbrook, G., Language and Computers, Edinburgh University Press, (1996)

- Dagneaux, E., Denness, S., Granger, S., Meunier, F., Error Tagging Manual
Version 1.1, Centre for English Corpus Linguistics, Université Catholique
de Louvain, (1996)
- Granger, S., Computer-aided error analysis, System(26) pp163-174, (1998)
- Granger, S., Learner English on Computer, Addison Wesley Longman Ltd.,
(1998)
- James, C., Errors in Language Learning and Use, Addison Wesley Longman
Ltd., (1998)
- Kizuka, H., Vardaman, J., 日本人学習者のための米語正誤チェック辞典, マク
ミラン・ランゲージハウス, (1997)
- Tomson, A., 江川泰一郎 (訳), 実例英文法第 4 版 (改訂版), オックスフォード
大学出版局, (1998)
- Turton, N., 英文法正誤チェック辞典, マクミラン・ランゲージハウス, (1995)
- 阿部一 他, 英語教育における語彙習得／発話動詞の分析, 南雲堂, (1995)
- 荒木一雄 (編), 現代英語正誤辞典, 研究者出版, (1996)
- 水野光晴, 中間言語分析・英語冠詞習得の軌跡, 開拓社, (2000)